

【LOM内で新型コロナウイルス感染症患者が発生した際の措置について】

12月3日、LOMメンバー1名がPCR検査によって新型コロナウイルス感染症陽性と診断されました。その件について、日本JCの作成したガイドライン『JCメンバーに新型コロナウイルス感染者が発生した場合の対応について』（添付資料を参考）における「JC運動以外でメンバーに感染者が発生した場合（ケース2）」（JC運動以外で感染し、感染発覚から遡って2週間以内にLOMのJC運動に参加していた場合）に該当したため、以下の措置を行った。

感染発覚前（2020年12月2日まで）

- ・症状は無かった。

感染発覚当日（2020年12月3日）

- ・陽性者より連絡あり

味覚に異変を感じ保健所に問合せ、PCR検査を受けた結果、検査機関より陽性の連絡を受けた。推測される感染ルートや現在の症状を聴取。現役会員との接触は、発症日とされる12月3日の2日前に行われた合同予定者委員会が該当する。保健所の見解では、マスクをしての会議は濃厚接触には当たらないと判断される。それ以外の接触は無く、濃厚接触者は無し。

- ・保健所からの指導のもと、発熱もなく軽症のため10日間の自宅療養

感染発覚翌日（2020年12月4日）

- ・兵庫ブロック協議会の運営専務に連絡。LOM内で感染者が発生したことを伝える。
- ・シニアクラブ執行部にLOM内で感染者が発生した旨を連絡。
- ・「LOMにおける感染者発生チェックシート」を兵庫ブロックに提出。
- ・事務局員にLOM内で感染者が発生した旨を連絡。
- ・感染者本人と連絡、症状の確認。
- ・全体メールにて会員に周知

その他

2度目のこともあり、スムーズに対応できた。1度目の時は、自分たちで考えることも多く会員を不安にさせることもあったが、保健所の指導の下、行動に移すことが、会員の不安も少なく、円滑に対応できるものであると考える。

（文書作成者 専務理事 吉原秀一）